

# 医療だより

## 市民医療センター

戸田市美女木4-20-1

☎ 421-4114 FAX 421-4218

国際興業バス 西川口～北戸田線

●「市民医療センター」下車

tocoバス(美笹循環)

●「市民医療センター」下車



### 診療科目

● 内科、小児科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、整形外科、耳鼻咽喉科  
診療科目によっては、診療日が決まっている場合があります

### 受付時間

- 月曜日 午前8時30分～11時30分、午後2時～5時
- 火～金曜日 午前8時30分～11時30分、午後1時30分～5時
- 土曜日 午前8時30分～11時30分、午後1時30分～4時
- 予防接種：月・水・金曜日(要予約)

## 休日・平日夜間の診療機関(急患)

かかりつけ医を持ち、早めの受診を心掛けましょう

※休日・平日夜間の診療機関は、診療時間内に受付を済ませてください

新型コロナウイルスの影響により急患(夜間休日)診療所の運用を次のとおりとします。

- ・現行通り、当面の間は蕨のみで開所します
- ・インフルエンザ迅速検査は原則行いません

【内科・小児科】※詳しくは蕨戸田市医師会ホームページをご覧ください

### 戸田休日・平日夜間急患診療所

●蕨戸田市医師会館となり

11月は開所しません。

### 蕨休日・平日夜間急患診療所

●蕨市福祉・児童センター内 ☎431-2611

休日診療日 11/3、7、14、21、23、28、12/5、12

休日診療時間 午前9時～正午、午後1時～5時

平日夜間診療月 11月・12月

毎週月～金曜日の平日夜間診療時間

午後7時30分～10時30分 ※休日を除く

【小児科】※平日夜間診療時間のあと

毎週月～金曜日の平日夜間診療時間 午後10時30分～翌朝7時

※受診される場合は、必ず事前に各医療機関に電話でお問い合わせください

月・水・木・金曜日 ●戸田中央総合病院(戸田市本町1-19-3 ☎442-1111)

火曜日 ●済生会川口総合病院(川口市西川口5-11-5 ☎253-1551)



【産婦人科】休日診療時間 午前9時～正午、午後1時～5時

※当番医は変更になる場合もあります。受診前に必ず電話でお問い合わせください。受診は急患のみです

11月3日(祝・水)	西村レディースクリニック ☎447-5311 戸田市本町3-15-21
11月7日(日)	岩沢レディースクリニック ☎445-4103 戸田市本町4-17-28 WINビル301号
11月14日(日)	桜公園クリニック ☎446-3950 戸市新曾南3-12-18
11月21日(日)	戸田中央産院 ☎444-1181 戸田市上戸田2-26-3
11月23日(祝・火)	白石はなもレディースクリニック ☎434-4809 戸市新曾2200-2 ロイヤルメドウ北戸田2F
11月28日(日)	蕨市立病院 ☎432-2277 蕨市北町2-12-18
12月5日(日)	飯田クリニック ☎441-2730 蕨市南町2-14-8
12月12日(日)	西村レディースクリニック ☎447-5311 戸田市本町3-15-21

## 救急電話相談

#7119 ☎048-824-4199 (ダイヤル回線、IP電話、PHS、都県境の地域でご利用の場合)

24時間相談対応 年中無休

年齢を問わず、急な病気(発熱、下痢、嘔吐など)やけがの、家庭での対処方法や医療機関の受診の必要性について、看護師が電話で相談に応じます。判断に迷ったときは気軽にご連絡ください。緊急に医療機関の受診が必要な時は、受診可能な医療機関(歯科を除く)を案内します

※県AI救急相談も行っています。電話が苦手な方でも気軽に相談できます。県医療整備課のホームページか右のQRコードから、スマートフォンやパソコンでご利用ください。この電話相談およびAI救急相談は助言を行うもので、診断や治療を行うものではありません

問い合わせ 県医療整備課 ☎048-830-3559

埼玉県精神科救急情報センター ☎048-723-8699(ハローキューキュー)  
夜間・休日に、精神疾患を持つ方や、その家族などからの緊急的な精神科医療相談を、電話で受け付けています(県在住者が対象)。相談内容から適切な助言を行い、必要に応じて医療機関の紹介を行います。非通知設定の電話はつながりませんので、番号を通知できる電話でおかけください。

受付時間 月～金曜日：午後5時～翌朝8時30分、

土・日曜日、祝日：午前8時30分～翌朝8時30分

問い合わせ 県立精神保健福祉センター ☎048-723-3333



## コラム

### 手の震えでお困りの方へ

「手が震えて字がうまく書けない」、「食事の時間にお箸やコップをうまく持てない」、「他人に震えを見られるのが恥ずかしい」などで困ったことはありませんか？

手の震えには、寒い時、緊張した時、ストレスを感じた時などに出現する「生理的振戦」と、病的な原因によるものがあります。

病的なもの代表は、「本態性振戦」と「パーキンソン病」が挙げられます。「本態性振戦」は一定の姿勢をとり続ける際に出現する「姿勢時振戦」で、震えの原因で最も多く、人口100人に2.5～10人程度みられます。家族に同様の症状がみられることも多く、高齢になると有病率はさらに高くなります。一方、「パーキンソン病」では何もしていない時、筋肉が緩んだ時に出る「静止時振戦」が特徴で、神経難病の中では最も多い疾患です。動作が遅くなる、歩きにくくなるなど、さまざまな症状を伴いゆっくり進行する疾患です。

その他「甲状腺機能亢進症」や「慢性アルコール中毒」、「薬の副作用」、「小脳の疾患」などさまざまな原因による震えがあります。震えが気になる方は、是非一度神経内科を受診されることをお勧めします。



戸田市市民医療センター 所長  
神経内科 飯島 昌一